

取り扱い上のご注意

バッテリー(充電池[※])について

※ここでのバッテリーとは、充電をおこなうことにより電気を蓄え、繰り返し使用することができる二次電池(充電池)をいいます。

- ◆本機はリチウムイオンバッテリーの一種のリチウムイオンポリマーバッテリーを内蔵しています。
- ◆バッテリーは消耗品です。消耗品の交換は保証期間内・外にかかわらず有料です。

リチウムイオンバッテリーの特性

リチウムイオンバッテリーは従来方式のバッテリーと比べ①高出力&高出力密度 ②継ぎ足し充電ができる③自然放電が緩やか、などの長所を持つ、製品の大幅な小型軽量化を可能にする技術のひとつで、高出力化のための高度な安全対策が厳重に施されています。リチウムイオンバッテリーの特性を良く理解しておけば、バッテリーの寿命を長く保ち製品をより有効に活用することができます。

サイクルとサイクル劣化

バッテリー性能容量の延べ100%ぶんの電力量を1回使用しきる単位を1サイクルとします。例えば、短時間の継ぎ足し充電を何度も挟みながら、数日間かけて性能容量の100%の電力量を1回ぶん使用した場合でも、サイクルの進行は1回です。

次に延べ100%として補充充電できる電力量(次の性能容量)は、バッテリー内部の化学反応により徐々に減少していきます。この、サイクル進行による性能容量の減少を「サイクル劣化」といい、一般的には劣化や消耗と呼ばれます。

リチウムイオンバッテリーは、従来方式のバッテリーと比べてサイクル劣化の進行度合いや自然放電が緩やかにになりましたが、いかなる場合であっても放電はおこなわれ、消耗や劣化したいを避けることはできません。

バッテリーの寿命とバッテリーの交換時期

1. サイクル劣化による寿命

バッテリーはサイクル劣化により性能容量が徐々に減少していきます。バッテリーの寿命到達時期は製品の使用条件、使用環境や使用頻度により異なりますが、満充電時の稼働時間が製品仕様の稼働時間(初期性能)のおよそ50%以下まで低下すると、劣化の進行度合いがそれまでより急激になるリスクが高まります。

このことから、満充電時の稼働時間が初期性能のおよそ50%以下まで低下した時点が、内蔵バッテリーパックの交換時期(寿命)となります。同30%以下まで低下している場合は、製品の使用や充電をしないでください。

お客様自身によるバッテリー交換はできません。いずれの場合も、裏面のオンキヨーPCカスタマーセンターへバッテリー交換を依頼してください。

<バッテリーをより長持ちさせるには>

製品周囲の温度環境が35℃以上になると、製品内のリチウムイオンバッテリーの劣化の進行度合いが急激になるリスクが高まります。

また、本機は製品全体から内部熱を放熱する設計になっています。製品の高温環境での使用や保管を避け、製品からの放熱が妨げられないような周囲環境でご利用ください。

2. 過放電による寿命

リチウムイオンバッテリーは、充電残量が空になった状態で長期保管すると、再充電ができなくなったり、充電が進みにくくなったりすることがあります。このような場合も、使用期間や頻度に関係なくバッテリーの寿命です。過放電による寿命は製品の起動障害の原因になる場合もあります。

充電が進みにくくなった場合は製品の使用や充電を中止し、裏面のオンキヨーPCカスタマーセンターへバッテリー交換を依頼してください。

<バッテリーをより長持ちさせるには>

製品を使用中は充電残量が空になる前の継ぎ足し充電を推奨いたします。残量が空になっても、数日のうちにバッテリーの劣化の進行が早まることはありませんが、空のまま長期保管しないようにしてください。

製品を使用せず長期保管する際は、保管する前と以後約3ヶ月ごとに充電残量が55%(下限)ー75%(上限)になるよう充電してください。

3. バッテリー性能容量の確認

定期的に本機からACアダプターを取りはずし、バッテリーでの稼働時間をお確かめください。

なお、特に指定されている製品を除き、製品へ長期間給電し続けることは避けてください。長期間給電状態にすることが、かえってバッテリーの劣化を早める場合があります。

寿命時のリチウムイオンポリマーバッテリーの膨張現象について

サイクル劣化や高温環境等による早期劣化、または過放電などによってすでに寿命を超えたバッテリーの充電をおこなった場合、バッテリーパック内に電解質の酸化ガスが発生し、バッテリーパックが膨らむ場合があります。これはリチウムイオンポリマーバッテリーの特性であり故障ではありません。バッテリーパックは厳重に密封されており、ガスが外部に漏れることはなく安全上の問題はありますが、膨らんだバッテリーパックが製品内の他の部品を圧迫し、製品の誤動作や損傷の原因になることがあります。少しでも製品の膨らみを感じたら使用や充電を中止し、速やかに裏面のオンキヨーPCカスタマーセンターへバッテリー交換を依頼してください。

(社)電子情報技術産業協会「PC用バッテリー関連Q&A」もご覧ください。
<http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121>

液晶ディスプレイについて

- ◆一部に点灯しない画素や常に点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によって色や明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのでそのままご使用ください。本機の有効ドット数(サブピクセル単位)の割合は99.99%以上です。
- ◆液晶ディスプレイは消耗品です。

タッチパネルについて

本機のタッチパネルは静電容量方式であり、特定の利用環境では高周波の電磁場の影響を受け一点のタッチに対して複数回の反応がある、またはタッチした場所と異なる場所が反応するなどの誤動作をする場合があります。これらを避けるために以下をお守りください。

- ・本機と高周波の発生源(蛍光灯など)を遠ざける。
- ・本機と高周波の発生源(蛍光灯など)の電源コードを同じコンセントに接続しない。
- ・電源コンセントは接地を十分におこなう。

メンテナンスについて

- ◆本機内部に保存したデータなどは定期的にバックアップをお取りください。
- ◆本機をシンナー、ベンジンなど揮発性有機溶剤が含まれているもので拭かないでください。
- ◆液晶画面は、キズ付き防止のため目の粗い乾いた布で強くこすらないでください。

24時間連続稼働について

本機は24時間連続稼働を前提とした設計になっておりません。24時間を超えるような長期連続稼働をおこなった場合、以下の現象や故障の原因になる場合があります。

- ・記憶装置にキャッシュなどの不用データ(garbage)が蓄積され続けることなどによる突然の動作停止。
- ・消耗品の早期劣化、有寿命部品の早期劣化。
(消耗品および有寿命部品の交換は保証期間内・外にかかわらず有料となります。)

ハイセイフティ用途での使用について

当社製品は一般事務用、家庭用、通常の産業用などの一般用途を想定した製品であり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく当社製品を使用しないでください。お客様が当社製品をハイセイフティ用途に使用されたことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求につきましても、当社は責任を負いません。ハイセイフティ用途とは、以下例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。原子力設備に関連する機器、航空・宇宙機器、運輸設備に関連する機器、生命維持にかかわる医療用機器、兵器システムにかかわる機器など

輸出および海外での使用について

- ◆当社製品の輸出(個人による携行を含みます)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要になる場合があります。必要な許可を取得せずに当社製品を輸出すると、同法により罰せられます。輸出許可の要否につきましては、ご購入いただいた販売店または当社営業拠点へお問合わせください。
- ◆当社製品は日本国内専用仕様であり、海外で使用された場合、当社は一切責任を負いません。
- ◆当社は海外での保守サービス、および海外で使用するための各種調査や技術サポート等を承っておりません。
- ◆海外での使用に起因する製品故障の修理は、保証期間内・外にかかわらず有料となります。

本機の廃棄について

- ◆本機はリチウムイオン電池を内蔵しています。
このマークはリチウムイオン電池のリサイクルマークです。



Li-ion00

- ◆本機をご家庭から排出する場合
本機は「PCRリサイクル」の対象外であり、一般廃棄物扱いとなります。タブレット端末の廃棄方法については、各市町村の廃棄処理に関する条例または規則にしたがってください。
- ◆本機を法人事業者から排出する場合(産業廃棄物として廃棄する場合)
当社は資源有効利用促進法に基づき、弊社の回収リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。詳細につきましては、次のWEBサイトで紹介している窓口にお問合わせください。
<http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html>